

また、10億分の1mサイズの新素材であるナノマテリアルについては、一般消費者向けの製品への利用が拡大しているものの、その有害性に関して、人の健康への影響を予測するための必要十分なデータが得られた状況には至っていない。また、国際的にも、ナノマテリアルの社会受容促進が喫緊の課題と認識されており、OECDにおいて代表的ナノマテリアルの有害性情報等を収集するプログラムが進められている。こうした状況を踏まえ、国際貢献を念頭に置きつつ、人の健康への影響を評価する手法を開発し、その方法に基づきナノマテリアルの有害性情報等を集積する研究を推進する。

更に、化学物質による情動・認知行動に対する影響の存在が示唆されているが、その評価手法の開発に資する研究を推進する。

本研究事業においては、一般公募型課題のほか、化学物質リスク研究分野での人材育成を進める観点から、若手育成型の研究課題を設定する。

なお、この公募は、本来、平成22年度予算成立後に行うべきものであるが、できるだけ早く研究を開始するために、予算成立前に行うこととしているものである。従って、成立した予算の額に応じて、研究費の規模、採択件数等の変更が生じる場合等がある。

<新規課題採択方針>

次の5分野に関して、化学物質の安全対策の観点から、国民の保健衛生の向上に資するものであって、<公募研究課題>に掲げる内容等に合致する課題を優先的に採択する。

【一般公募型】

- ① 化学物質の有害性評価の迅速化・高度化に関する研究
- ② 化学物質の子どもへの影響評価に関する研究
- ③ ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法に関する研究
- ④ 家庭用品の安全対策に関する研究

【若手育成型】

- ⑤ 一般公募型課題のうち若手育成に資する研究

研究費の規模：1課題当たり

課題①ア	20,000千円	～	30,000千円程度	(1年当たりの研究費)
課題①イ	10,000千円	～	15,000千円程度	(1年当たりの研究費)
課題②	30,000千円	～	50,000千円程度	(1年当たりの研究費)
課題③	40,000千円	～	60,000千円程度	(1年当たりの研究費)
課題④	20,000千円	～	30,000千円程度	(1年当たりの研究費)
課題⑤	6,000千円	程度		(1年当たりの研究費)

研究期間：1～3年（中間評価の結果如何によっては研究の継続不可とする場合がある）

新規採択予定課題数：

課題①ア、イ	それぞれ1課題程度
課題②、③	それぞれ1～2課題程度
課題④	1課題程度
課題⑤	1課題程度

※各研究課題について原則として上記の課題数を採択するが、事前評価等の結果によっては採択を行わないことがあるので留意すること。